

JAMA電子情報フォーラム2016

電子情報企画部会 活動概要

一般社団法人 日本自動車工業会

電子情報委員会
電子情報企画部会
部会長：今田 毅

2016年2月19日

1	自工会と電子情報委員会の紹介
2	自動車業界を取り巻く環境認識
3	電子情報企画部会の役割
4	電子情報企画部会 2015年度の活動
5	ご案内

自工会と電子情報委員会の紹介

設立：1967年 4月 3日

目的：本会は、我が国の自動車工業の健全な発達を図り、もって経済の発展と国民生活の向上に寄与することを目的とする。

- 事業：
- (1) 自動車の生産、輸出及び市場に関する調査、研究並びに各種統計等関連資料の作成及び刊行
 - (2) 以下の事項に関する調査、研究及び提言
 - [1]自動車及び自動車産業に係る政府の施策に関すること
 - [2]自動車の基準認証並びに安全技術及び環境技術に関すること
 - [3]自動車及び自動車産業に係る環境保全に関すること
 - [4]交通安全の推進に関すること
 - [5]自動車の流通に関すること
 - [6]自動車の利用環境の改善に関すること
 - [7]自動車の貿易及び自動車産業の国際的なビジネス環境に関すること
 - [8]自動車の材料及び部品に関すること
 - [9]自動車及び自動車産業の電子情報に関すること
 - [10]自動車産業における人事労務、安全衛生、技能振興及び労使関係に関すること
 - [11]自動車産業における知的財産の保護に関すること
 - (3) モーターショー、各種行事の開催並びに関連出版物等の作成及び刊行
 - (4) 前各号に関する啓発、広報活動並びに自動車及び自動車産業に関する理解促進
 - (5) 前各号に掲げるもののほか、本会の目的を達成するために必要な事業
 - (6) 前各号に掲げる事業は、国内又は海外において行うものとする

自工会会員企業（OEM14社）

いすゞ自動車株式会社

川崎重工業株式会社

スズキ株式会社

ダイハツ工業株式会社

トヨタ自動車株式会社

日産自動車株式会社

日野自動車株式会社

富士重工業株式会社

本田技研工業株式会社

マツダ株式会社

三菱自動車工業株式会社

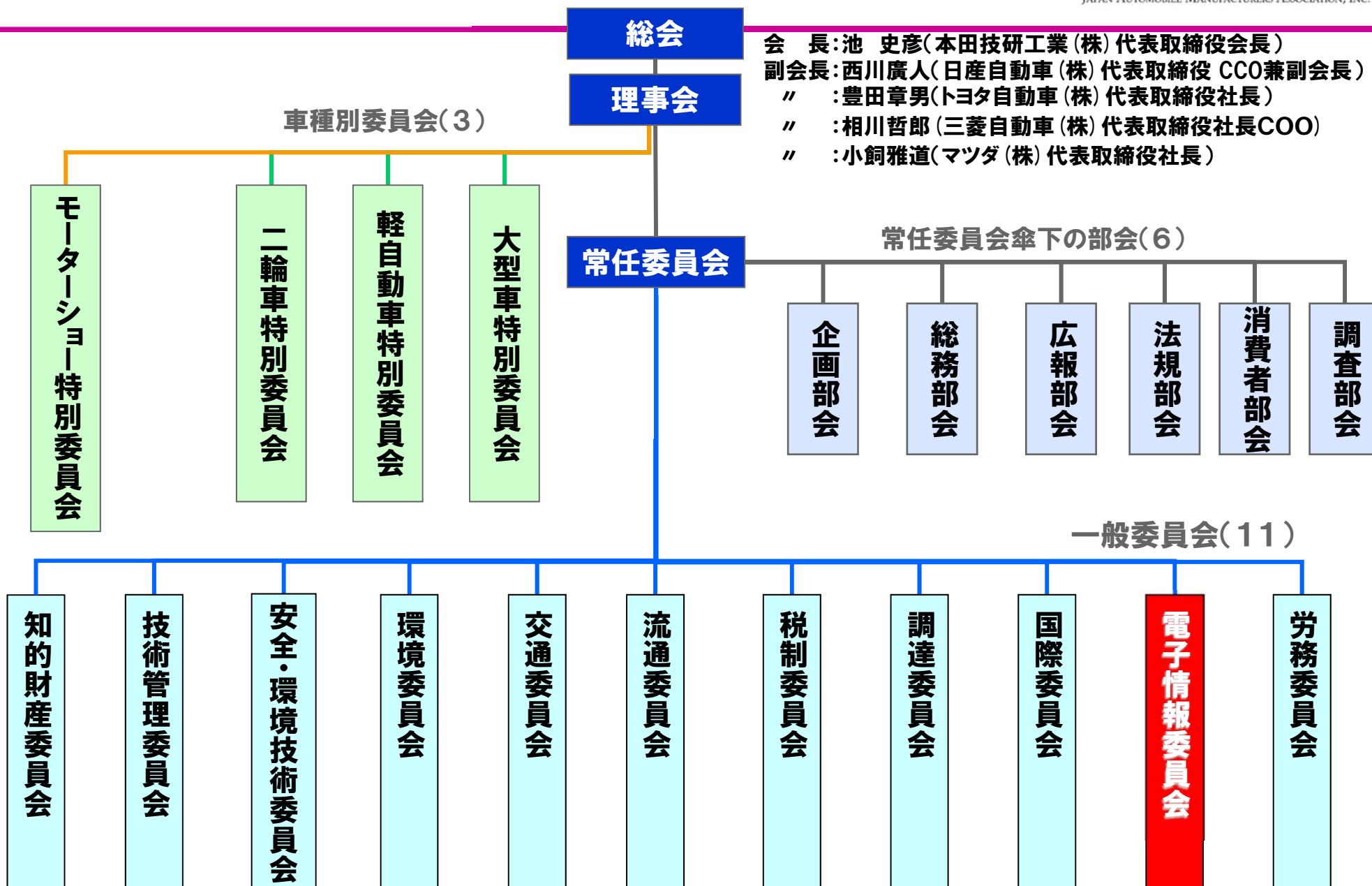
三菱ふそうトラック・バス株式会社

ヤマハ発動機株式会社

UDトラックス株式会社

（社名50音順）

自工会委員会の体制

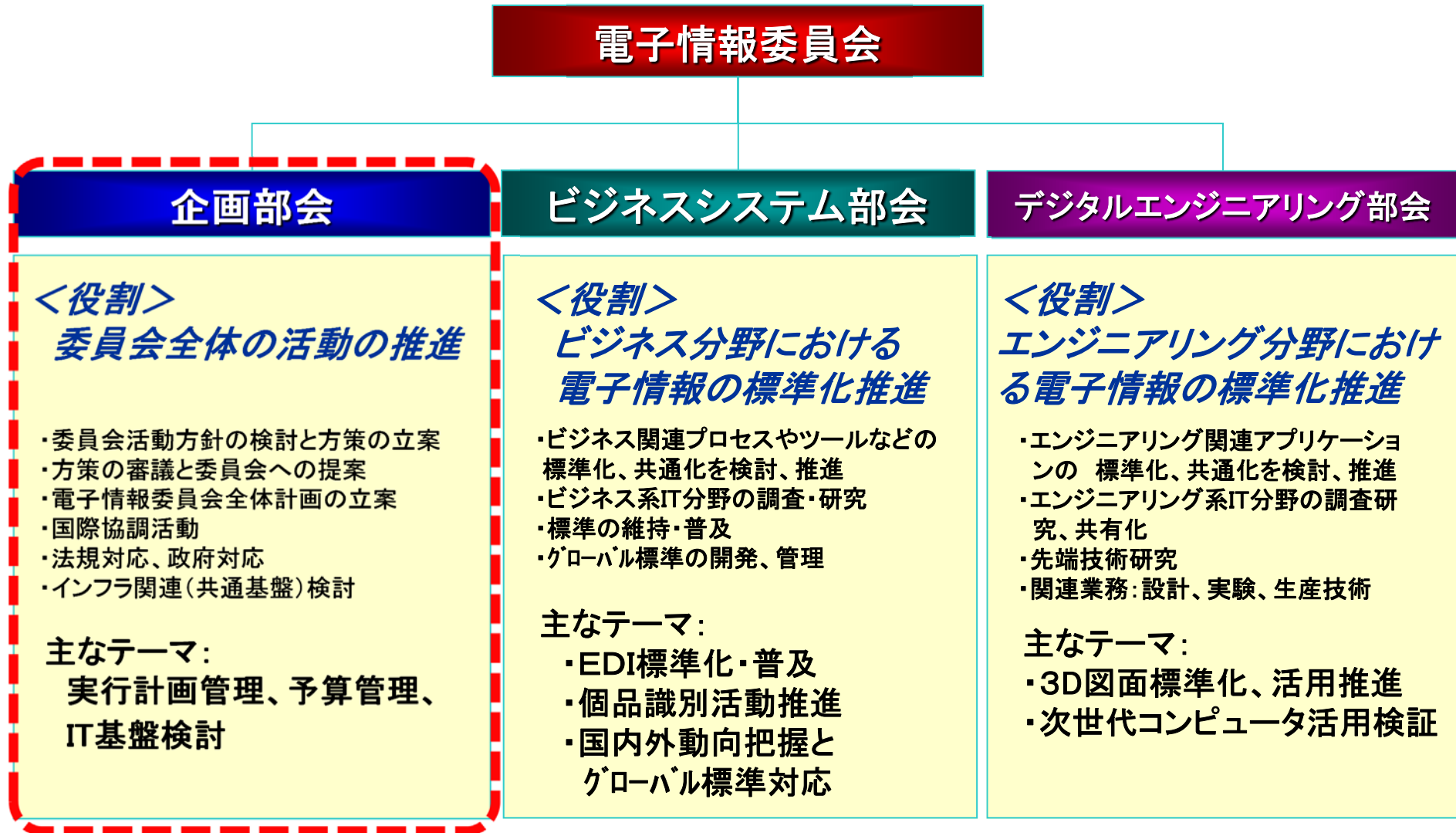


■歴史

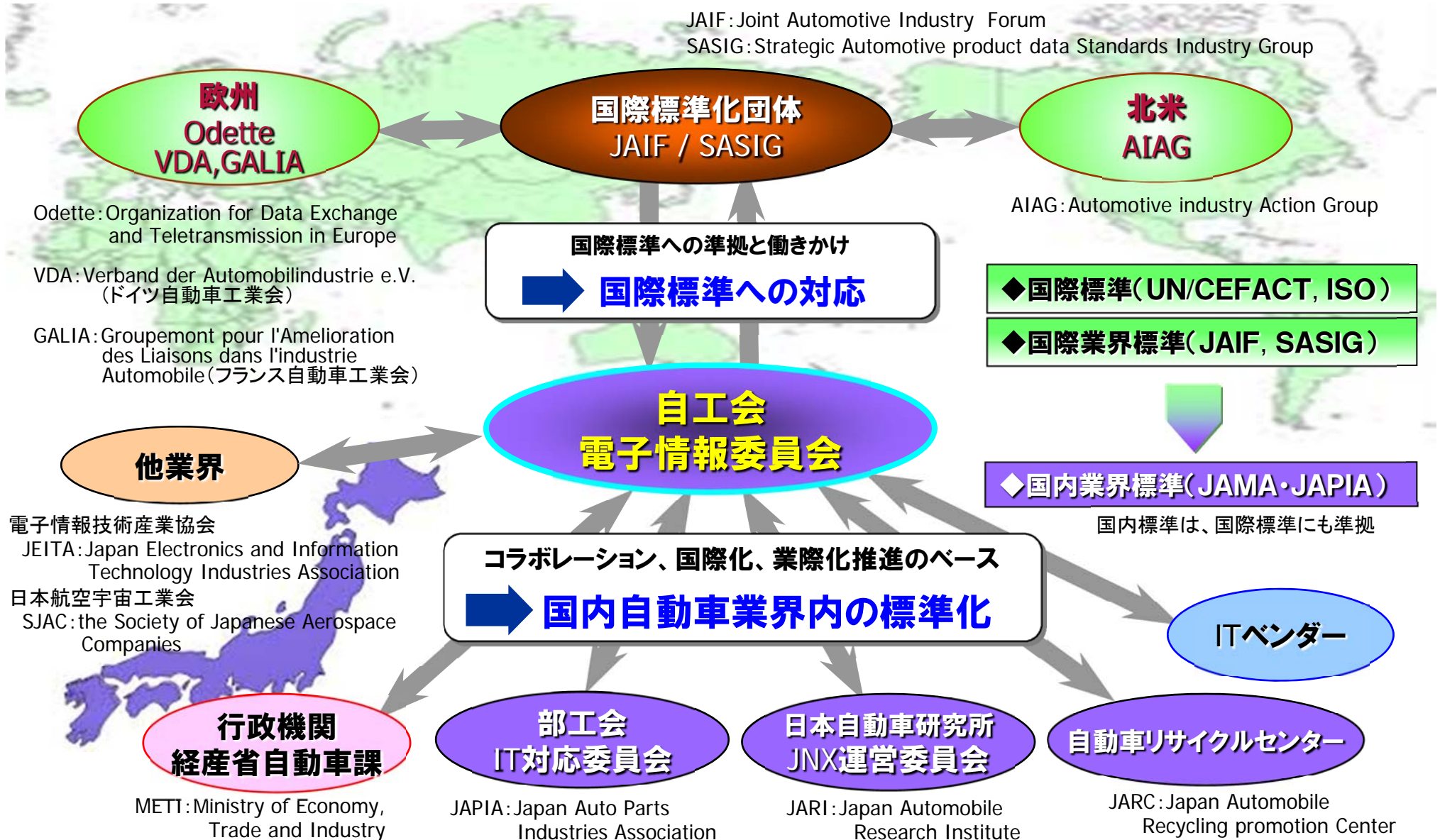
自工会としての情報化・標準化の取組みは1980年代から始まり、1990年代に国内・海外ともにIT活用が活発化するなか、技術データ（CAD）や電子商取引（EDI）をはじめとする電子情報全般に関する業界共通の課題解決の場として発足した。（1998年5月）

■電子情報委員会のミッション

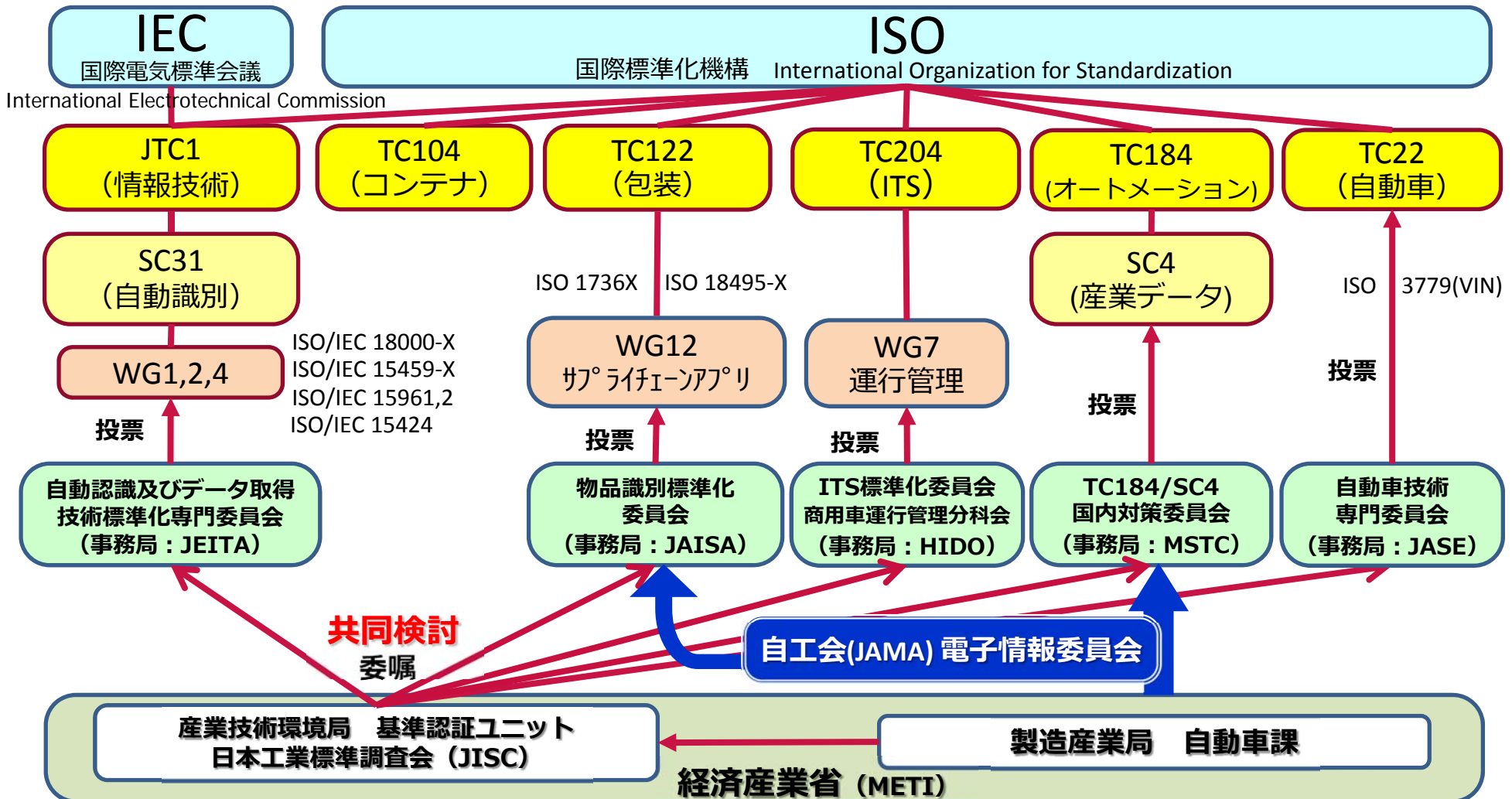
「日本自動車工業会 電子情報委員会は、国際的視点をもって、ITの活用を通して自動車工業界の生産性向上に貢献する」



電子情報委員会の体制 (国内／国際協調)



国際標準化活動



国内審議団体事務局

JEITA : 一般社団法人 電子情報技術産業協会
JAISA : 一般社団法人 日本自動認識システム協会
HIDO : 一般財団法人 道路新産業開発機構
MSTC : 一般財団法人 製造科学技術センター
JSAE : 公益社団法人 自動車技術会

(JEITA : Japan Electronics and Information Technology Industries Association)
(JAISA : Japan Automatic Identification Systems Association)
(HIDO : Highway Industry Development Organization)
(MSTC : Manufacturing Science and Technology Center)
(JSAE : Society of Automotive Engineers of Japan)

自動車業界を取り巻く環境認識

自動車業界を取り巻く環境認識

自動車業界を取り巻く環境認識 - 経済

JAMA 一般社団法人 日本自動車工業会
JAPAN AUTOMOBILE MANUFACTURERS ASSOCIATION, INC.

マクロ視点では、日本の産業全体における製造業のプレゼンスは下降傾向、全体パイが微減、ほぼフラット。*

名目GDPにおける



電子情報ジャーナル2016

自動車業界を取り巻く環境認識 - 社会

JAMA 一般社団法人 日本自動車工業会
JAPAN AUTOMOBILE MANUFACTURERS ASSOCIATION, INC.

さまざまな新しい価値観やペルソナが取り沙汰されるが、

例えば「若者の価値観」→2001年-2011年

「自動車に興味や関心がある」比率の推移

	2001年度	2009年度
男性	20代 71.2	44.1
	30代 76.7	58.8
	40代 71.4	65.7
女性	20代 52.5	27.6
	30代 46	32.8
	40代 33.3	31.3

出典：調査研究「o-camp 2001・2009」

電子情報ジャーナル2016

自動車業界を取り巻く環境認識 - 技術

JAMA 一般社団法人 日本自動車工業会
JAPAN AUTOMOBILE MANUFACTURERS ASSOCIATION, INC.

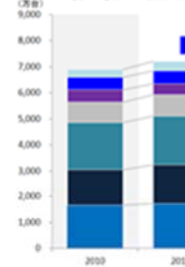
既存の内燃機関ベースの継続改善 → ハイブリッド/EVの浸透 → 新技術・新エネルギーへの転換という流れを注視しなくてはならない

既存技術・エネルギー

自動車業界を取り巻く環境認識 - 販売

JAMA 一般社団法人 日本自動車工業会
JAPAN AUTOMOBILE MANUFACTURERS ASSOCIATION, INC.

世界主要60カ国合計自動車販売台数推移(2010~2014年)



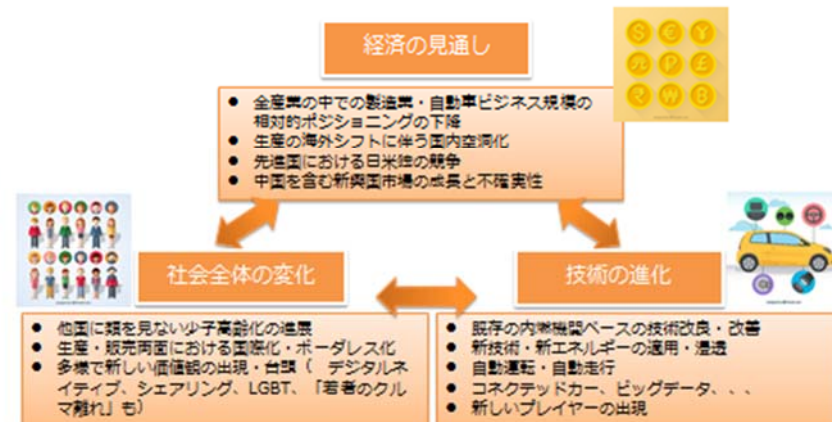
- 世界販売は5年連続増
- 世界市場は着実に拡大
- 新興国市場は伸び続ける
- 国内は、かつてのピークを越え、再び成長を遂げる

電子情報ジャーナル2016

自動車業界を取り巻く環境認識

JAMA 一般社団法人 日本自動車工業会
JAPAN AUTOMOBILE MANUFACTURERS ASSOCIATION, INC.

私たちの業界を取り巻く環境は非常に早いスピードで変化している
⇒ 市場・顧客・製品・仕事の進め方に関して素早い変化対応が必要



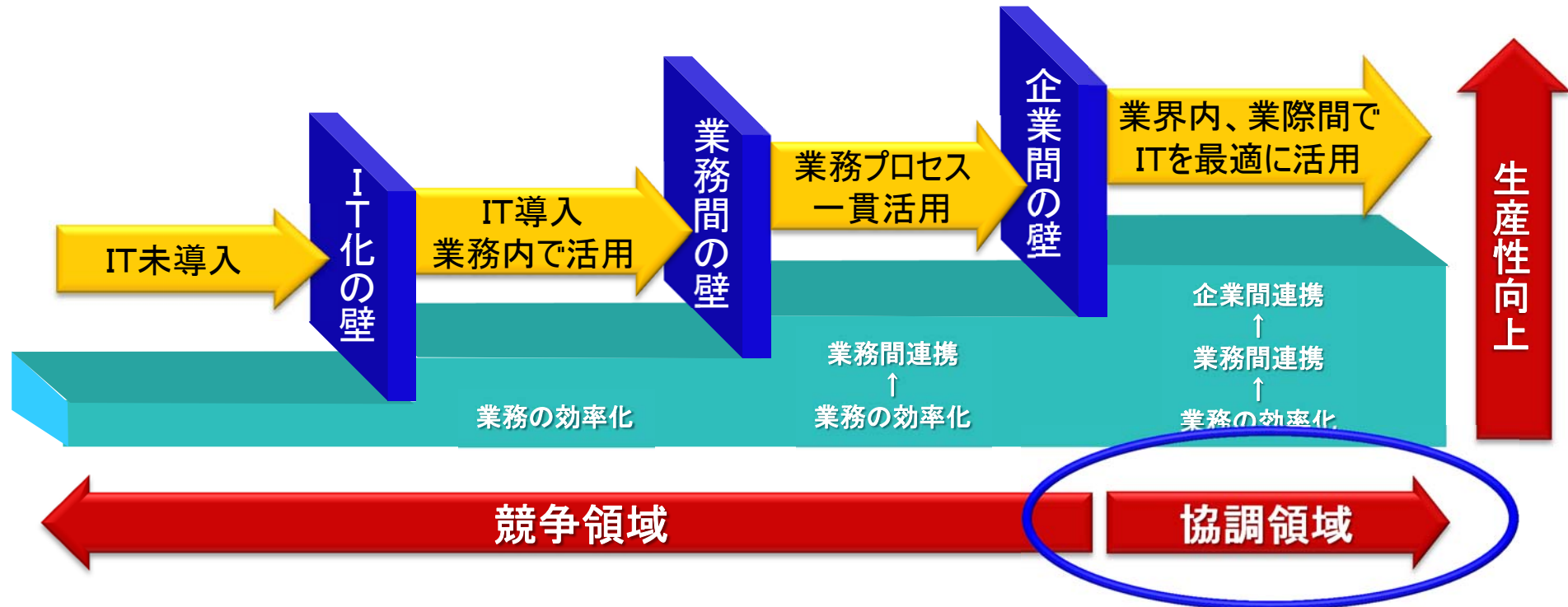
電子情報ジャーナル2016

Copyright (C) Japan Automobile Manufacturers Association, Inc. 2016

自動車業界を取り巻く環境認識



■ IT化の推移



- ✓ 国際競争力を維持して行く為には、業界全体の生産性向上が必須！
- ✓ 企業、業界を跨いだ**戦略的協調**が必要

ITに関わる内外の新たな動向

■ 日本再興戦略（アベノミクス「第3の矢」）



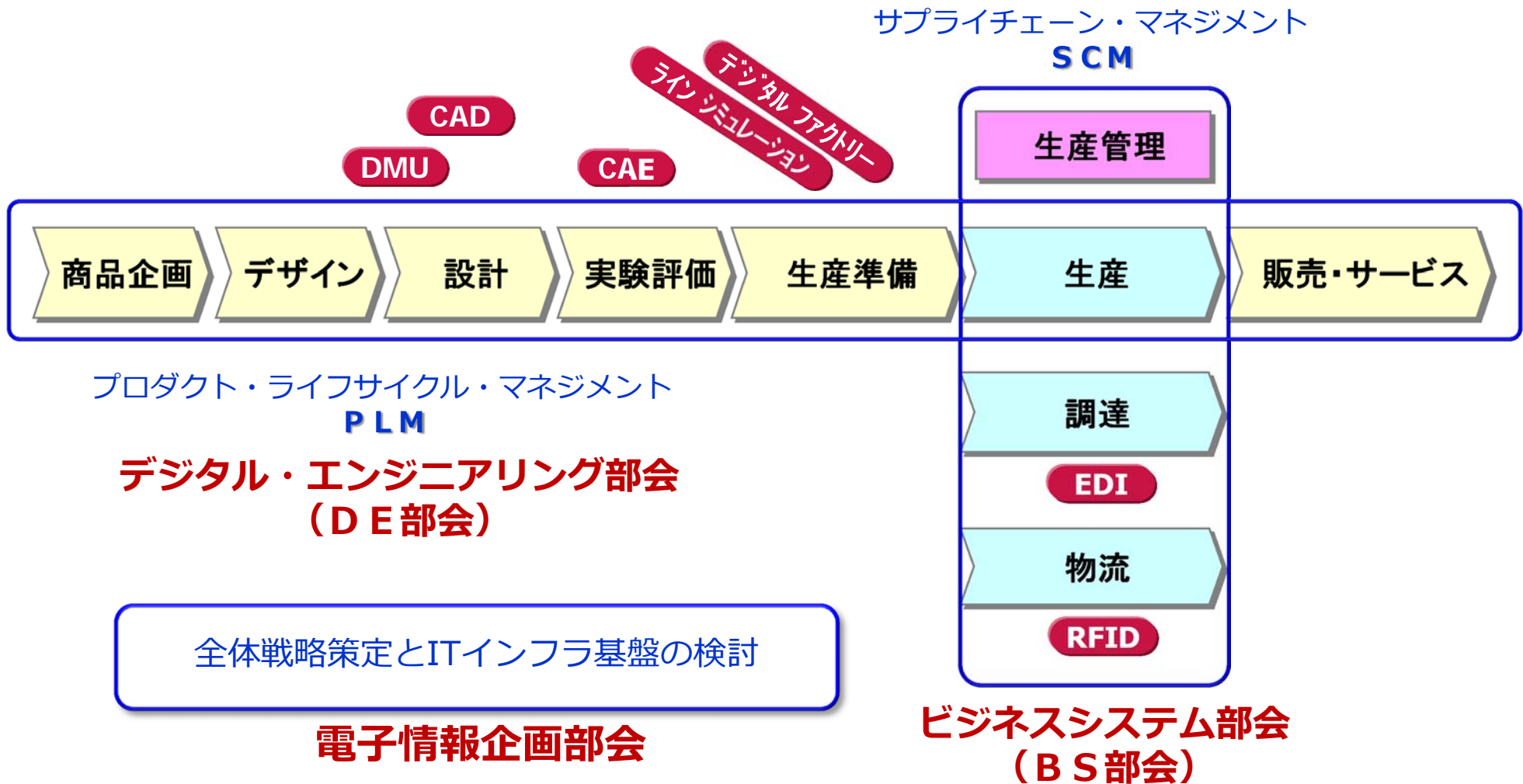
■ 第4次産業革命の潮流

✓ IoT(Internet of Things)で「ものづくり」の変革を目指す

例：独**Industrie4.0**、米**Industrial Internet** 等

電子情報企画部会の役割

■ 電子情報委員会の活動（PLMプロセス、SCMプロセスにおけるデジタル化）



■ 電子情報委員会の戦略・方針策定

- 14社委員による協議と委員会提案

■ 電子情報委員会の全体運営

- 委員会全体運営と三部会調整

■ 渉外活動

- 電子情報委員会の渉外窓口機能

■ IT技術の調査・検討・標準化

- 業界インフラ共通基盤の検討

■ 啓発活動

- JAMA電子情報フォーラムの企画等

■ 国内協調活動

- 行政機関との連携



- 関係団体と協調した課題対応



- 法規対応



自動車リサイクル法
(リサイクル・システム)

■ 国際協調活動

- JAIF (Joint Automotive Industry Forum) : 国際標準化活動に関する協議



電子情報企画部会 2015年度の活動

■ IT技術の調査・検討・標準化（次期基盤検討）〈IT技術分科会〉

電子情報委員会の各施策を支える次期IT基盤の検討を行う。
今年度は、次期IT基盤の主要な技術要素8つを選定し、調査／分析を進めている

- ① 大容量データ送受信
- ② モバイル通信
- ③ 認証／シングルサインオン
- ④ アクセス権限管理
- ⑤ クラウド
- ⑥ ビックデータ、データサイエンティスト
- ⑦ 分散ファイルシステム〈Hadoop〉
- ⑧ モーションセンシング

※今後も定期的に、継続して、技術要素を検討する

■ 啓発活動（JAMA電子情報フォーラムの企画）

＜電子情報フォーラム2016開催タスク＞

電子情報委員会の活動をもっと理解してもらい、活動を広げて行く為に、フォーラムも進化させる

- ✓ 前回フォーラムのご意見、ご要望を反映する
- ✓ 双方向コミュニケーションを強化する
- ✓ 外部講演者による基調講演
- ✓ 集客方法の改善
- ✓ 自工会Webサイトの有効活用
- ✓ 次回フォーラムに向けて、改めてお客様の声を聞く

■ 委員会の戦略・方針策定（内外のIoT関連動向調査） ＜企業間DC検討WG＞

Industrie4.0やIoTが注目されているが、実際の所、何が起きていて、
どういったことが検討されているのか？

- 自動車業界にとって、どの様な影響が有るのか？
- スマート・ファクトリーとは、世界最先端のファクトリー・オートメーションで日本が先行しているのでは？ 何が違うのか？
- 日本の製造業は、携帯電話の様にガラパゴス化してしまう？
- 電子情報委員会としての対応課題は何か？

今年度は、Industrie4.0等、内外のIoT関連動向について実態把握の
の為、調査を実施した ⇒ 詳細は午後のセッションで報告します

ご案内

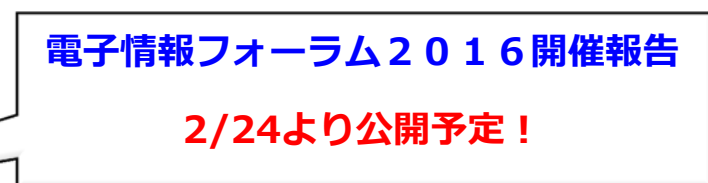
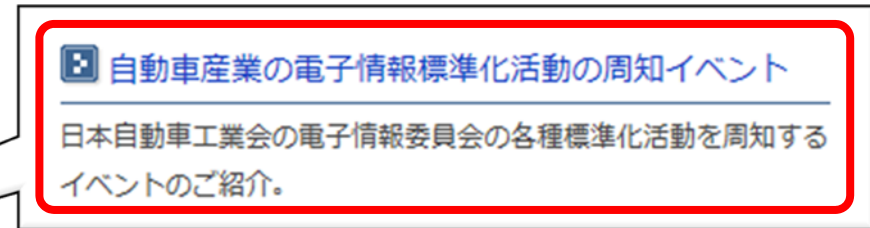
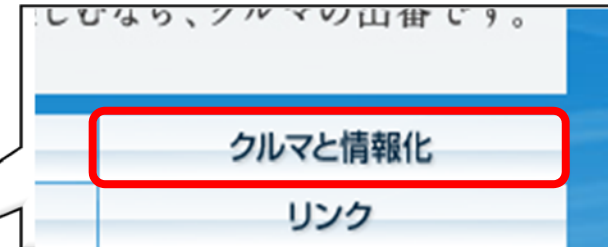
ご案内 電子情報企画部会 午後のセッション

皆様のご参加をお願い致します！

【午後の部】 電子情報企画部会/ビジネスシステム部会セッション 会場 B1F A会議室			
13:45-14:25 (40)	自動車業界におけるRFIDの活用に向けた標準化活動 ビジネスシステム部会 A I D C-WG 主査：山崎 敏夫		
14:25-14:30 (05)	休憩		
14:30-15:10 (40)	Industrie4.0等国内外最新動向調査報告 電子情報企画部会 企業間デジタルコラボレーション検討WG 主査：久田 俊成 30分 プレゼン 10分 質問票記入		
15:10-15:25 (15)	休憩		
15:25-16:35 (70)	企画部会 * 意見交換 2回		BS部会 * 「RFID完成車物流ガイドライン」デモ 2回 * 意見交換コーナーは随時対応
	15:25-15:55(30)	意見交換#1	15:25-15:55(30) デモ#1+QA
	15:55-16:05(10)	入替	15:55-16:05(10) 入替
	16:05-16:35(30)	意見交換#2	16:05-16:35(30) デモ#2+QA
16:35-16:45 (10)	アンケート記入、歓談		
16:45-16:50 (05)	閉会		

ご案内 自工会Webサイト

http://www.jama.or.jp/index.html



ご清聴ありがとうございました。

引き続きJAMA活動へのご理解とご協力を
宜しくお願い致します。